

## 二人の庭

佐川 洋子 福島県いわき市 四十六歳

トマト、きゅうり、ナス、ゴーヤ。自宅の小さな庭にはたくさんの野菜が育っている。野菜だけではない。春には可愛いチューリップ、六月は鮮やかに咲いた紫陽花が美しい。夏になると真っ赤な芙蓉が大きな花びらが風に揺れて、暑さを忘れる癒しである。

夫は植物を育てるのが好きだ。その細やかな性格が野菜作りに適しているのだろう。私と言えばサボテンさえ枯らす大雑把な性格、種を投げとけば育つだろう位の人である。夫は何度も野菜の様子を見に行っては病気や害虫にやられる度、ブツブツと文句を言っている。手をかけた分裏切られた気持ちになるらしい。その性格は短所でもある。私達は全てが真逆な性格で昔はよく口論になっていた。同じ趣味を持つ等論外であった。

結婚して二十八年、主人の作る野菜を私が調理し息子達が美味しいと食す。真逆な二人でもできる事もある。

家の後ろに水路があつて、そこには鴨の親子が居たり、運が良ければ草むらに蛍が現れる。真っ暗な草むらに小さな命を燃やして放つ光は私たちの一生分の輝きにも劣らない。何て静かで、何て穏やかな、優しさに溢れた日々。人が一生で手に入れるべき幸せとは、こんな風に細やかな事の積み重ねなのだろう。二人が作ったこの緑の庭はそんな事を気づかせてくれる

この先もずっと